-作業療法実習用-
-実習指導者記載-

令和　8　年度・臨床見学実習Ⅰ評価表

北海道千歳リハビリテーション大学

実習施設名				
作業療法学専攻	学籍番号		学生氏名	
実習期間	開始　令和 8 年　　月　　日(　　)　終了　令和 8 年　　月　　日(　　)　　日間			

1　臨床見学実習Ⅰの総合所見　　※下枠内に収まる文字数での記載をお願いいたします。

総合所見	(学生の成長した点，今後の実習や学習への課題などを記載してください) 実習指導者名：

2　作業療法士(学生)としての資質・適性の評価　　※当てはまるセルを「○」で囲んでください．

	基準 / 項目	十分	概ね十分	ボーダーライン	基準未到達	
1	実習施設の規則の遵守	規則の意図を理解し、実習生として必要な行動規範を身につけている。	不用意なミスなどもあるが、概ね規則を理解し遵守できる。	規則は理解しているが、守るためには促しが必要。リハ部門の問題になり得る。	規則を理解できず、守ることができない。施設全体の問題になり得る。	1を消去
2	時間的観念と責任ある行動	提出物は期日を守り、時間の遵守も問題ない。常に事前に行動できる。	提出物が遅れることもあるが、時間の遵守は概ね十分である。	提出物を期日までできないことが多く、時間の遵守も不十分で頻回な指導が必要。	提出物を期日内に提出できない。無自覚で日常の中の時間の遵守ができない。	2を消去
3	向上心の発揮	適切に質問したり、自ら課題をみつけ意欲的に自己学習することができる。	質問をするが、やや積極性に乏しい。自己学習は行うが浅い。	促さないと質問が無い。自己学習は喚起した内容だけ行う。	質問もなく、自己学習も行わない。学ぶ意欲に疑問を持ってしまう。	3を消去
4	整理整頓	毎日、主体的に行っている。	ほぼ毎日、主体的に行っている。	ある程度は行うが、主体的とは言えず促しが必要。	整理整頓ができず、ほとんど行えない。	4を消去
5	医療人としての身だしなみ(髪型、化粧(髭)、服装、衛生面)	4つすべてが適切である。	どれか1つが不十分である。	どれか2つ以上が不十分で配慮が欠ける。	3つ以上が不十分で不快感を与えてしまう。	5を消去
6	対象者への態度	配慮も十分で、状況に応じた適切な態度や言葉遣いをとることができる。	態度や言葉遣いが不適切になることもあるが、概ね問題なく接することができる。	場面に応じた態度や言葉遣いができず、対象者に不安を与える。	一方的な態度をとることが多く適切性に欠ける。敬語も使えない。対象者に不快感を与える。	6を消去
7	職員との人間関係(挨拶を含む)	常に、積極的に関わり柔軟なコミュニケーションができる。	やや積極性に乏しいが、良好な関係を保つことができる。	挨拶も少なく、自ら関係性を保つ意識が乏しい。	必要な場合でも自ら行動することが少なく、良好な関係を保つことができない。	7を消去